



しばた議会だより



イザ となれば

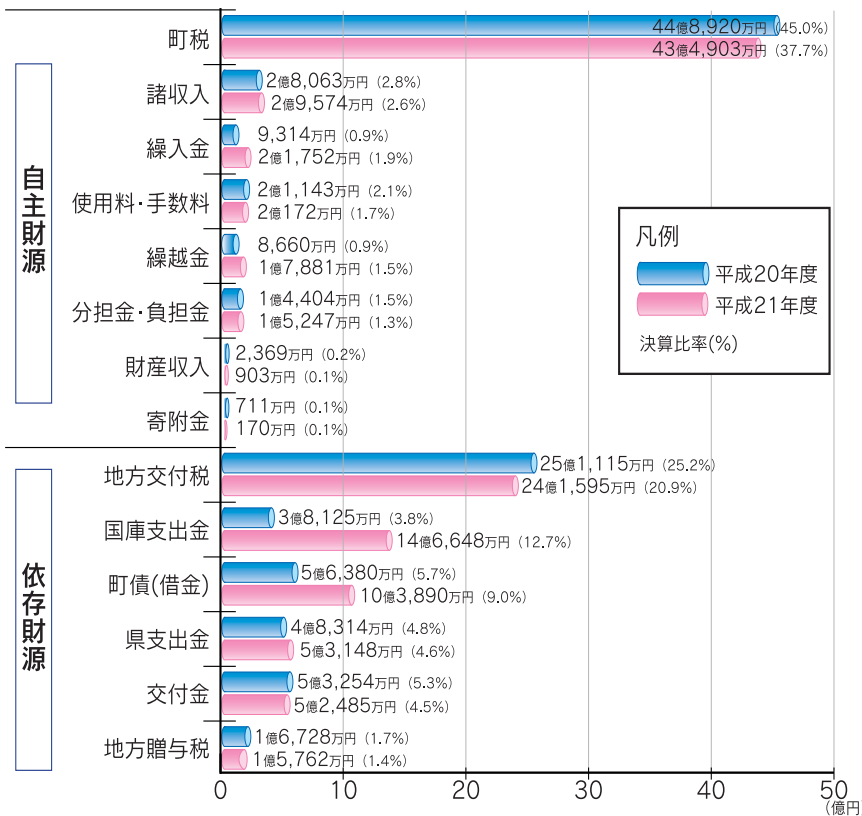
- 9月定例議会・平成21年度決算を認定 2・3
 ・決算審査特別委員会 5～8
- 船岡中校舎耐震補強工事 追加工事を承認 9
- 議会の出欠状況・議案の審議結果 10
- 議会懇談会を開催 11
- 一般質問 12～18
- 常任委員会リポート 19
- あなたの一言（しもだとおる下田徹さん） 20

113億円を認定

待たれた事業 に着手

決算の内訳

歳入 平成21年度総額 **115億4,131万円**



平成22年9月議会は9月3日から16日までの会期で開催され、平成21年度の一般会計及び各特別会計、水道事業会計の決算は4人が総括質疑を行った後、決算審査特別委員会を組織し詳細に審査した結果、すべての会計を原案どおり認定しました。

このほか、条例4件、補正予算7件、人事案件2件など（10ページ参照）を原案どおり可決・同意しました。

「平成21年度船岡中学校校舎耐震補強等工事」の請負変更契約議案に対しては、議決前に工事着手したことなどから問題となり、議論が交わされました。

町税収入4.5%減 地方交付税も3.8%減

21年度歳入では、経済状況悪化の影響もあり、町税収入は43億4千903万円となり、前年度より4.5%の減額。地方交付税は24億1千595万円、3.8%の

減額となり、町の財源は若干窮屈なものになりました。

「定額給付金事業」や「経済危機対策の交付金事業」などで、国からの補助金・交付金等の金額が増えたことから、決算総額が大きな金額となっています。

柴田町の 財政は

健全化判断指標

健全化判断比率の4指標について町長より報告されました。

そのうち、実質公債費比率及び将来負担比率の2つについて紹介します。

○実質公債費比率 21年度は14.7%
20年度は16.2%

※数値が大きいほど固定経費、借金の支払いが大きく財政運営が大変な状況を示します。

○将来負担比率 21年度は83.4%
20年度は91.8%

※数値が少ないほど将来の負担（借金の支払いなどが減っていく）が少なくなります。

■指標から、柴田町の財政は現在苦しいが、将来は負担が減っていくことが読み取れます。

平成21年度
一般会計決算

船岡中学校体育館 改築事業実施計画を含む

21 年度に行った事業



船岡中央公園に遊具を設置



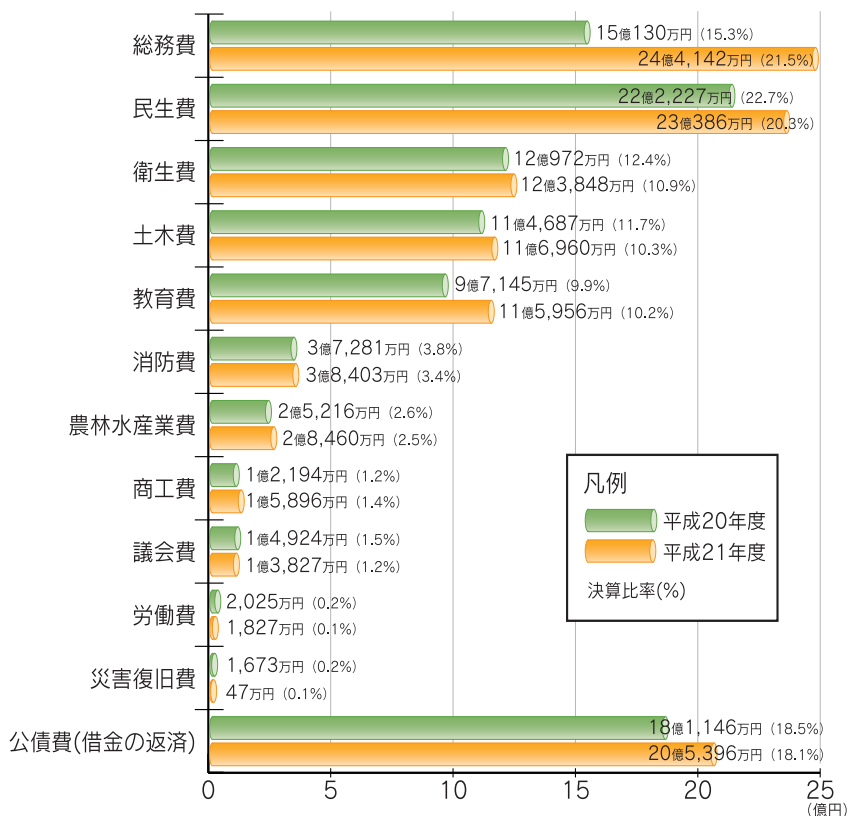
小中学校に電子黒板を配備



柴田町図書館を整備

歳出 平成21年度総額 **113億5,148万円**

一般会計



国の補助金・交付金の積極活用で建設事業が増

21年度は国の補助金・交付金を積極的に活用し、船岡中学校校舎の耐震化、体育館の建てかえなどの建設事業に着手したほか、柴田町図書館の整備を図りました。

また、公債費（借金の返済）は20億円とまだまだ高い水準です。

財政再建プランの効果により取り組める事業が増えていますが、今後も財政規律を守っての運営が求められています。

討 論

第3回定例会議会
認定第1号

「柴田町一般会計歳入歳出決算の認定について」

反対討論

広沢 真議員

経常財政に影響しない範囲で借金をコントロールし町民の要望にこたえることは評価する。

しかし、国の地方予算が今のまま続く保証はなく慎重な財政運営を求め、来年度以降の注意を喚起するため反対する。

賛成討論

佐々木裕子議員

21年度は、経済悪化で町税や地方税の減額となったが、地域活性化交付金事業などで、施設整備や学校耐震化にも着手。財政健全化指標も基準以下であり、次年度に向け財源確保できたことも評価できる。

問 来年度国保税引き上げはあるか

- (1) 国民健康保険税の
取納額は3年間減少傾向にある。被保険者、保険給付費の増加や収納率減少をどう考えるか。他市町と比較して本町の国保税滞納はどうか。この結果から来年度の予算編成への影響はどうか。
- (2) 本町の農業政策に

- (1) 経済情勢の混乱により、収入減の加入者増で滞納者の増。未納者には分納誓約を交わして納付環境を整備し、完納指導を続け未収額解消に努める。各市町も年々滞納増加傾向に苦慮している。負担の公平を考慮し、予算への影響を
- (3) 入札事務について、成果が得られたか判然としない事例があるなど、町の意図が伝わっていないのではないかとの監査委員の指摘があった。今後の対策と職員の意識をどう考えているか。
- (3) ついて、遊休農地、地産地消など、農業の今後の展望はどう考えるか。
- (3) 特殊な業務委託などで意図が伝わらなかった町の意図が反映でき成果が得られるよう図る。

答 未収額の解消に努め、影響を抑える



水戸義裕 議員

総括質疑

問 町債残高は計画通りに減るのか

- (1) 21年度の経済危機対策による事業は。
- (2) 一般会計で5千800万円（20年度比33%の減）となっている不用品をどう考えるか。
- (3) 21年度収支は1億5千万円の赤字であり、22年度も多くの事業が計画され、特別会計も
- (4) 急激な自治体財政の縮小はないと判断するとしているが、政権が交代すれば政策も変わるので
- (1) 年々増えていく。このような状況のなかで町債残高は、順調に減っていくか。
- (4) 年々増えていく。このような状況のなかで町債残高は、順調に減っていくか。

答 財政規律を守れば計画通り減っていく

- (1) 船岡中学校校舎耐震補強事業、船岡中学校屋内運動場改築事業、林道上野線、道路改修事業に取り組んでいる。
- (2) 110億円を超える予算執行を行う町会計の仕組みを考えれば、適正水準と判断している。
- (3) 将来の負担比率は、平成19年94・5から平成21年度は83・42、毎
- (1) 船岡中学校校舎耐震補強事業、船岡中学校屋内運動場改築事業、林道上野線、道路改修事業に取り組んでいる。
- (2) 110億円を超える予算執行を行う町会計の仕組みを考えれば、適正水準と判断している。
- (3) 将来の負担比率は、平成19年94・5から平成21年度は83・42、毎



佐々木守 議員

問 来年度以降の財政見通しは

- (1) 国の動向が不安定で国家予算の編成にも不安が残る。補助金、交付金を活用して事業に取り組むことは重要だが、国の制度維持の保証はない。軌道修正の考えはないか。
- (2) 多くの事業を始めているが、財調基金取り崩しが前提である。
- (3) 今後のため基金を増やす必要があるのではないか。
- (3) 仙南広域の負担金が増えていくことが予想されるがこれまでの計画通り事業を進められるのか。
- (4) 観光の目玉である一目千本桜が衰えてきている。観光の方向性を考える必要があるのではないのか。

答 国の動向を注視し、未来への投資を続けたい

- (1) 国の施策に懸念もあるが、国県の資金を積極的に活用し戦略的に未来への投資を加速したい。
- (2) 財政調整基金は多ければ多いにこしたことはない。しかし、町民のための事業を遅らせるわけにはいかないと考える。財政を順調
- (1) 国の施策に懸念もあるが、国県の資金を積極的に活用し戦略的に未来への投資を加速したい。
- (2) 財政調整基金は多ければ多いにこしたことはない。しかし、町民のための事業を遅らせるわけにはいかないと考える。財政を順調
- (3) 平成26年度以降は借金、これまでの計画どおり進められる。
- (4) 一目千本桜の新たな植栽は難しいが可能性は追求する。花を基軸とした町おこし、観光インフラ整備を進めていく。

総括質疑



広沢 真 議員

総括質疑



白内恵美子 議員

- 問** 総合計画は政策主導の事業選択を
- (1) 第5次総合計画の策定に当たって次の点に注意すべきではないか。
- ① 自治体が行うことの全体を明示すること。
- ② 財政主導ではなく、総合的見地から政策主導の事業選択とすること。
- ③ 実現可能性にこだわり夢物語を書かないこと。
- 答** 政策の選択・集中を行い策定する
- (1) ① 今回の総合計画は、新しい都市の創造を目指すコンパクトシティの実現を目標とし、政策の選択・集中を行い総合的な見地から策定する。
- ②③ 財政との整合性を確保し、実効性、実現性のある計画を策定したい。
- (2) 9月に入っても猛暑が続く、小中学校では室温が36度に達した所もあり、命の危険を感じる。夏休みのない保育所は全室冷房を入れ、小・中学校はせめて保健室、図書室、特別教室に冷房を、教室には大型扇風機を設置すべきではないか。
- 策定過程では、町民の意見を聴く機会を数多く設けた。行政と町民、みんなで考え練り上げた計画になると確信している。
- (2) 保育所・児童館への冷房は平成23年度から年次計画により整備する。小・中学校は当面、保健室や図書室、他の特別教室への設置を検討する。

決算審査特別委員会

税金の使い道
チェックしました



歳入

国の補助金・交付金は
計画通りに活用できるか

質疑 補助金、交付金の事業で町の事業を取組み始めているが計画どおりに進められるのか。

答 10割補助される補助事業で危険性は低く抑えているので、10カ年の

財政計画のもとに進めていく。

緊急雇用対策で
何人雇ったか

質疑 21年度の緊急雇用創出で何人採用し、その配属はどのようにしたか。

答 ふるさと雇用再生と併せ61人創出し、学校関係に9人を初め予算と各課の要望により配属した。



着々と進む船中体育館建設工事

滞納検索システム 導入の効果は

質疑 滞納システム導入で収納率の向上は図れたのか。

答弁 仙南広域滞納整理課に委託した金額が約4千47万円で、そのうち徴収されたのが約1千354万円。率にして約33・5%になり、平均24・6%に比べて柴田町はかなりの収納の向上が図れた。

歳出

落札率を どう考えるか

質疑 公共事業の競争入札の落札率が95%以上とかなり多いが、これについてどのように考えるか。

答弁 国の仕様書、積算歩掛表に基づいて積算すると、発注者側と内容や単価の取り違いがない限りほぼ同額となる。

柴田斎苑の 建て替えは

質疑 新しい柴田斎苑は25年供用開始の話があるが実態はどうか。

答弁 仙南広域の計画にあるが、財政状況と仙南クリーンセンター問題も決定していないことから斎苑に取り掛かる余裕がない。しかし老朽化しているので早めに計画を明確にしようという話を進めている。

民生委員の 増員は

質疑 高齢者の増加に伴い民生委員の人数を増員することはできないのか。

答弁 今年改選期にあたり、各地区からの要請もあり2人増員して72人とした。

福祉課の出前講座 を全行政区に

質疑 福祉課で行っている出前講座を各行政区すべて回れないのか。

答弁 要望のあったときに対応している状況である。

職員減で 業務に支障は

質疑 財政再建プランの中で人員削減目標を15人上回ったとあるが、業務に支障はないのか。

答弁 嘱託対応はしているが従来の1.2から1.5倍ぐらいの勤務量になっていることは承知している。対応としては、全国の町村の動向や実施状況を見て委託という方向で考えている。

7つの行政区で 避難訓練が実施されたか

質疑 自主防災組織での避難・防災訓練は何行政区で行われているか。

答弁 41自主防災組織の内25の組織で実施された。

情報公開請求の 中身は

質疑 情報公開請求18件は、どんな内容だったのか。

答弁 2人で18件、内容は



ママ これがいいの(3歳児ワールド)

3歳児ワールド の成果は

質疑 3歳児ワールドの実施結果は。

答弁 親子ふれあい体操教室をはじめ3回の事業を実施。参加者は親子で54組でした。

個人データの バックアップは

質疑 個人情報関係のバックアップは、内部で

答弁 毎日サーバーから取り出し金庫で保管。週一遍のデータについては業者委託し業者でもバックアップを取る二重体制で実施している。

不法投棄対策は

質疑 不法投棄に関わる監視カメラの成果はあったのか。

答弁 不法投棄されている場所などに一週間設置。抑止力が発揮され、その後不法投棄は少なくなつた。

地域活性化研究 事業の内容は

質疑 地域活性化研究事業の概要はどのようなものか。

答弁 町職員・JA・商工会のメンバーで地域活性化について検討。提案の一つには「まち育て塾」のようなものをつくって住民が自発的に活性化に取り組めるようにということがあり、町としては新たな地域資源を生かし



地域の大切な交通機関 阿武隈急行

ながら活性化につなげていきたい。

阿武隈急行の 経営状態は

質疑 阿武隈急行の経営状態はどうなっているのか。今後も支援していくのか。

答弁 21年度の決算で約2千362万円が損益で累積赤字は約7億6千779万円となっているが、地域の大切な交通としてこれからも支援していきたい。

プレミアム商品券の 今後は

質疑 商工会プレミアム商品券を今後も続けていくのか。

答弁 商工会からは今後も続けたいとの意向を受けている。

固定資産の 評価面積増はなぜか

質疑 固定資産の評価面積が前年度に比べて増えているのはなぜか。

答弁 地籍調査による正しい面積に直したためである。

災害時要援護者登録 をどう進めるか

質疑 災害時要援護者の登録率をどうやって上げていくのか。

答弁 窓口相談と、民生委員によるひとり暮らしの調査・老老世帯の調査の際、登録支援を依頼している。

放課後児童クラブの 延長保育の現状は

質疑 放課後児童クラブの延長保育の状況は。

答弁 槻木児童クラブでは1万166人の利用があり、非常に助かったという意見があった。



槻木放課後児童クラブ

イノシシ対策は

質疑 農業被害が増えてきているイノシシの対策は考えているのか。

答弁 柴田町ではまだ大きな被害はないが、今後爆発的に繁殖することが予想されるので、仙南2市7町で情報交換しながら、防護柵の補助など検討が必要と考える。



至るところにイノシシの足跡がある畑

米粉製品は町の特産品になるのか

質疑 米粉を使った新製品は町の特産品として売り出せるのか。

答弁 試作品は好評だったがすぐに特産品になるというわけではない。来年度からは地元産米粉パンを月2回程度学校給食で提供することで進めている。



みやぎ県南中核病院の脳ドックの窓口となる健診センター

インフルエンザによる 行事の中止は

質疑 インフルエンザ対策で公的なイベントを中止したことをどう考えるか。

答弁 中止したことが少し過剰だったかもしれないが、そのことによって感染が抑えられたと考えている。

職員の 健康管理は

質疑 事務量が増えているなかで、職員の健康管理のうち脳ドックの受診はどうなっているか。

答弁 自己管理ではあるが、一度も受けていない職員を優先して声掛けをしていきたい。

家屋補償事業 の現状は

質疑 地盤沈下等の家屋補償事業で56区画残っているが、これに対する対応をどのようにしていくか。

答弁 1件1件話をしついでいき、最終的に予算計上となれば、現実的には毎年1件か2件ぐらいいが限度と考える。

奨学金の 返済は

質疑 柴田町育英会奨学金の返済は順調になされているか。

答弁 奨学生からの償還計画では55人で49万9千360円になっている。償還されたのは283万3千760円、収納率は57・1%である。

本会議審議

各議案審議内容

一般会計補正予算では、一般町道の維持管理費や観光物産交流館工事請負費の増額などにより3億6千132万円の増額補正となりました。また、子ども医療費（これまでの乳幼児医療費）の助成が入院は12歳までと拡大されました。

9月補正

保育所改修の内容は

(一般会計)

質疑 槻木・西船迫保育所大改修の詳しい内容は。

答弁 主なものとして、槻木保育所は雨漏り、床の全面的改修。西船迫保育所は雨漏り改修工事を予定している。

質疑 この機会に全室冷房を入れてはどうか。

自主性を尊重し、実行

答弁 順次必要などころから導入を考えている。

マラソンの後は

(一般会計)

質疑 さくらマラソン大会の補助金が予算計上されているが今後も補助金を続けていくのか。

答弁 今回は前回までの補助金と同額を補助するもの。将来は自立

会計区分	補正額	補正後の額	
一般会計	3億6,132万円	110億7,788万円	
特別会計	国民健康保険事業	2億6,503万円	37億5,192万円
	老人保健	51万円	78万円
	公共下水道事業	5,956万円	15億4,555万円
	介護保険	9,703万円	20億0,558万円
	後期高齢者医療	108万円	3億0,740万円
水道事業会計	収益的収入	—	12億1,405万円
	収益的支出	△821万円	12億2,430万円
	資本的収入	—	1億1,530万円
	資本的支出	6万円	3億3,870万円

委員会等で資金調達と運営ができればと考えている。

観光シンボル施設誕生

船岡城址公園のシンボル施設として(仮)柴田町観光物産交流館を建設するもの。建築工事の請負額は5千994万円。

質疑 開札にあたり、落札業者間での金額の開きが大きい。その理由は。

答弁 町では工事にあたり実施設計書を作成している。標準設計により町としては予定価格を出した。応札できたのは各業者経費削減の差と見ている。



(仮)柴田町観光物産交流館の完成イメージ

船岡中校舎耐震補強工事請負変更

追加工事を承認 外壁塗装・トイレの改修などに **6,894**万円



装いも新たに(船岡中学校)

【質疑】 3月議会で指摘があった部分(トイレ、外壁)について、町長からどんな指示があったのか。
 【答弁】 子どもたちの環境を少しでも良くするため交付金の範囲内で変更が可能であれば実施してほしいと指示があった。
 【質疑】 変更契約額の総契約額に占める割合が高くなっている。その点で一般競争入札の妥当性が問われるのではないか。今回の部分の単独工事だけをピックアップしても入

工事に伴う音や振動、においなどにより子どもたちの授業に支障をきたさないよう、一部工事を議会承認前の夏休みに先行して実施したことや、追加工金額が6千894万円と多額となり、さらに競争入札問題の妥当性が問題視されたことなどにより、議論が交わされました。

札に値する価値がある工事も量だと思ふ。一般競争入札の妥当性についてどう考えているのか。
 【答弁】 今回の事案が単なる変更でなく追加的要素を含むが、大枠では一般競争入札の仕組みは損ねていないと判断する。

【質疑】 もっと早くに議会に説明することができたのではないかと。
 【答弁】 変更部分がきちんと説明できる段階ではなかったが、委員会や全員協議会等で説明するべきだった。

町長10% 3カ月の減給へ 教育長5% 3カ月の減給へ

船岡中学校耐震補強工事の議決前着工に伴い、管理監督の立場にある者として町長、教育長の給料を減額しました。

反対討論

舟山 彰議員

町長に処分を下すこと自体には反対ではないが、処分が軽過ぎる。議会の承認を得ない前の工事着手、変更金額が大きいこと、確実な再発防止策の実施のためにも町長の処分をもっと重くすべきである。

賛成討論

佐久間光洋議員

議会の議決が必要な手続を怠ったことでの責任は免れるものではないが、町に対する損害が無かつたこと、一連の行為の中に悪意が感じられなかつたこと、関係者が十分反省していることなどから原案に賛成する。

反対討論 広沢 真議員

①予算執行にあたっての議決手続きに不備があった。②変更工事の金額が入札価格の4割を超えて入札の妥当性に疑問が生じた。今後このような事態の再発防止のため反対する。

賛成討論 平間奈緒美議員

教育環境に支障が生じないよう、内装工事など夏休み中に終了させる配慮は認める。しかし、工事変更を議会に報告しなかったことは大変遺憾。今後は連絡体制を密にし、二度とこのようなことがおきないように願う。

子ども医療費 12歳まで入院費が無料に

今回の改正は、子どもの適正な医療機会の確保及び子育て家庭における経済的負担の軽減を図るために、入院に係る医療費の助成対象者について中学就学前まで拡大しました。



人事案件



副町長の選任に同意(新任) 平間 春雄氏 (下名生字清水)



教育委員会委員の任命に同意(再任) 阿部 次男氏 (槻木西1丁目)

本会議出欠状況 議案等審議結果

今号から、より身近な議会、開かれた議会を目指すため定例会、臨時会の「議員(委員)出欠状況」と「議案等審議結果」をお知らせします。

平成 22 年第 3 回(9 月)定例会 出欠状況(決算審査特別委員会を含む)

区 分	内 容	月 日	出席者数(人)	出 欠 状 況																
				平間奈緒美	佐々木裕子	佐久間光洋	高橋たい子	安部俊三	佐々木守	広沢真	有賀光子	水戸義裕	森淑子	大坂三男	舟山彰	佐藤輝雄	星吉郎	加藤克明	大沼惇義	白内恵美子
本会議	町政報告等	9/3	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	9/6	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	9/7	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問・人事案件	9/8	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	条例・補正予算	9/9	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	決算上程・総括質疑	9/10	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算審査特別委員会	正副委員長の互選等	9/10	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監	○	○	○	○	○	○	○
	一般会計決算審査	9/13	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監	○	○	○	○	○	○	○
	一般会計決算審査	9/14	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監	○	○	○	○	○	○	○
	一般会計・特別会計決算審査・採決	9/15	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監	○	○	○	○	○	○	○
本会議	決算採決・条例・会議規則等	9/16	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。 ※決算審査特別委員会中、「監」は説明員(議会選出監査委員)として出席していることを表す。 ※議長は決算審査特別委員にはならない。

平成 22 年第 3 回(9 月)定例会 議案等審議結果

件 名	議決月日	賛成(人)	賛成者数(人)	議決結果	表 決 状 況																
					平間奈緒美	佐々木裕子	佐久間光洋	高橋たい子	安部俊三	佐々木守	広沢真	有賀光子	水戸義裕	森淑子	大坂三男	舟山彰	佐藤輝雄	星吉郎	加藤克明	大沼惇義	白内恵美子
副町長の選任について	9/8	17	17	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
教育委員会委員の任命について	9/9	17	17	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
村田町の学校給食に関する事務の受託について	9/9	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
柴田町乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	9/9	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
柴田町国民健康保険条例の一部を改正する条例	9/9	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成 21 年度船岡中学校校舎耐震補強等工事(建築工事)(繰越明許)請負変更契約について	9/9	17	12	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	否	否	○	○	○	否	○	否	○	議
権利の放棄について	9/9	17	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否	○	○	○	議
平成 22 年度柴田町一般会計補正予算	9/9	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成 22 年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算	9/9	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成 22 年度柴田町老人保健特別会計補正予算	9/9	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成 22 年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算	9/9	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成 22 年度柴田町介護保険特別会計補正予算	9/9	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成 22 年度柴田町後期高齢者医療特別会計補正予算	9/9	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成 22 年度柴田町水道事業会計補正予算	9/9	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成 21 年度柴田町一般会計歳入歳出決算の認定について	9/16	17	16	認 定	○	○	○	○	○	○	○	否	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成 21 年度柴田町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9/16	17	17	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成 21 年度柴田町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	9/16	17	17	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成 21 年度柴田町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9/16	17	17	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成 21 年度柴田町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9/16	17	17	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成 21 年度柴田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	9/16	17	17	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成 21 年度柴田町水道事業会計決算の認定について	9/16	17	17	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成 22 年度(仮称)柴田町観光物産交流館新築工事(建築工事)請負契約について	9/16	17	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否	○	○	○	議
柴田町長等の給与及び旅費支給条例の一部を改正する条例	9/16	17	12	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	否	○	○	○	否	否	○	否	議
柴田町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例	9/16	17	13	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否	否	○	否	議
柴田町議会会議規則の一部を改正する規則	9/16	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
保育制度改革に関する意見書	9/16	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。 ※「議」は表決時に議長のため、表決に参加していないことを表す。

平成22年議会懇談会を開催

4年目を迎えた今年の議会懇談会は、従来の町民の皆様を対象とした「一般懇談会」のほか、町内団体等を対象とした「団体懇談会」を新たに開催しました。貴重なご意見・ご要望を議会活動や町政に活かしていきます。



船岡生涯学習センター

一般懇談会

6会場で有意義な懇談

7月18日、小学校区ごとに午後の部3会場・夜間の部3会場で開催しました。

は、開催会場施設への配布・閲覧や、ホームページなどへの掲載を行うこととしています。

懇談のテーマ「防災―地震に備えて―」について

ご意見・ご要望の一部を紹介いたします。

意見交換を行うとともに、町政や議会へのご意見・ご要望をいただきました。

●災害に備えどこの避難所にどのような備蓄品を整備するのか。

参加者数は、合計で64人でした。

●ゴミの有料化は2市7町で話し合っているというがどのようになっているのか。

懇談会でいただいたご意見等を集約して町長及び議長に申し入れし回答を求めました。その回答を含めた最終的なまとめ

●鷺沼排水工事が早く始まるよう、議員からも声がけてほしい。

防災に関する質問・意見・要望等

項目	質問・意見・要望等の件数	項目	質問・意見・要望等の件数
避難場所・避難所に関すること	9件	排水機場に関すること	2件
避難・救助・応援に関すること	6件	消防団に関すること	2件
自主防災組織に関すること	6件	災害時要援護者名簿に関すること	2件
防災マップに関すること	2件	その他	6件
		計	35件

その他の質問・意見・要望等

項目	質問・意見・要望の件数
町政に関すること	37件
議会に関すること	15件

団体懇談会

柴田町商工会と意見交換

9月28日、午後2時から柴田町商工会との懇談会を開催しました。

●デマンドタクシーについての情報を流してほしい。

議会活動報告に続いて商工会の現状についての説明があり、その後、懇談に入り活発な意見交換が行われました。

●花咲き山構想について。●プレミアム商品券を継続していきたい。

参加者数は、町商工会関係者20人、議員18人の合計38人でした。懇談の主な内容は、次のようなことでした。

●町は町内企業育成をうたっている。災害時には地元業者の力が必要となる。地元発注など普段から育成を図ってほしい。



商工会役員と懇談(商工会館)

一般質問



ズバリ

あなたにかわって

ここが聞きたい

Q & A



一般質問は9月6日から8日までの3日間で行われ、12人の議員が質問しました。質問と答弁の内容について、その一部を掲載します。答弁者は、滝口町長、阿部教育長及び各担当課長等です。

柴田町はもっとむだの削減ができると思ってる。そこで柴田町の事業や関係する団体等について私なりの事業仕分けを行いたいと思う。

問 町の債権管理 ①旧サンコアの駐車場代は完全に回収できないのか。②仙南青果市場の新設合併に際し、町は減資等で実質損をしている。他に心配な団体はないのか。

答 ①旧サンコアは破産が確定し、回収は不可能。②町が出資している6団

Q 事業仕分けでむだの削減を



舟山 彰 議員

A 財政再建に努めている

体は心配なしと判断。

問 遊休地 ①町有地で売れ残っている場所の面積と取得価格は。②今後の見通しと、販売方法は。③公園予定地の未整備の割合は。

答 ①約1万5千平方メートル3億9千万円。②福祉センターの隣、旧船岡保育所跡地は公開公募方式で売却に努力。③残り5カ所で7%程度。

問 町の施設 ①役場庁舎の耐用年数は。②耐震対策は。③老朽化に伴い



遊休地となっている旧船岡保育所跡地

雨漏り等の心配は。

答 ①約50年。37年経過で老朽化有り。②1階2階の東西方向の工事必要。③どうか支障なし。

問 職員の給与 ①職員手当での種類は。②周辺に比べて高い手当てはないか。③民間と違う手当ては。

答 ①通勤手当等9種類。②高い手当てなし。③民間から見ると不自然な手当ては一切ないと思っ



平間奈緒美 議員

Q 伝統ある槻木小学校
吹奏楽部に支援を

A 特色ある学校づくりに基金を設け、
第1号として支援していく



平和の祭典で演奏する槻木小学校吹奏楽部

槻木小学校吹奏楽部は25年間地域の方々とともに歩んできた伝統ある部である。活動も活発で吹奏楽コンクールでは2年連続で金賞など優秀な成績をおさめており、昨年は東北大会にも出場している。地域の活動としては、柴田町図書館のオープニングイベントへの参加や定期演奏会も行っており、槻木小学校といえど吹奏楽と言われるほど地域に根づいている。

しかし、修理代や新たな楽器の購入費、運搬費など多くの費用がかかっており、地域の方の寄附や親の会の負担で運営している状況である。

問 伝統あるこの吹奏楽部に町として支援していくことはできないか。

答 新年度に向けて特色ある学校づくりに新たな基金を設け、学校独自の活動にこの基金から支援をしていく考えである。槻木小学校の吹奏楽部は町のイベントにも積極的に参加していることか

ら、この基金の第1号として支援していきたい。

問 基金はどのような形でやっていくのか。

答 教育活動全般において、ある一定の規模を基盤化して毎年特色のある活動をする1校ないし2校を選択して支援する。詳しい内容についてはこれから検討していく。



白内恵美子 議員

Q ITシステムの
最適化と経費削減の
取り組みを

A 新しいシステムの導入を
検討したい



今や事務処理には欠かせないパソコン

現在は、ITシステム調達のプロセスが高度化しており、専門的知識を有する事業者に対して、町が指導的立場を維持するには、より高度なスキルが求められている。このような状況の中で、システムの最適化に向けた取り組みと、ブラックボックス化する経費を削減することが町にとって最大の課題ではないか。

問 町のCIO（情報システム最高責任者）の役割の明確化は進んだか。

答 副町長がCIOの従来の体制で動いている。

問 ITガバナンスではCIOの役割を、「透明性の高い事後評価を実施し、事業継続の判断を適切に行う」とあるが。

答 町のCIOは委員会会長の役割で、情報政策班が組織で動いている。

問 総務省は2020年度を目指しIT関連費用5割削減を打ち出しており、IT予算がブラックボックス化しないようガイドラインを作成してい

る。昨年度の柴田町のIT関連予算は1億4千万円だが、今年度の予算額は。

答 昨年度実績1億6千万円、今年度予算は1億7千万円になっている。

問 予算削減に向けた研修会に参加しているか。

答 担当者が最適化の研修に参加している。今後はコスト削減・最適化の方向の新しいシステムの研修にどんどん参加し、導入を検討したい。



佐久間光洋 議員

Q 産業振興に
多角的視点での
協働体制を

A 地域資源を活用した
取り組みを支援する



長年地元でがんばる豆腐屋さん

問 自立の柴田町を実現するには町内の産業力を強化することが欠かせない要素だ。業態の幅広い変化の中でも産業として成り立つことが町の基盤形成と考えるが、町の対策は。

答 人口減少の時代なので観光客など交流人口を増やすことが、産業振興の大きな鍵と考える。農村と都市との交流活性化など、地域資源を活用した創意工夫ある取り組みを積極的に支援していく。

問 また、観光物産交流館を拠点とし、年間を通じた交流施設になるように全庁挙げて取り組む。

答 研修や講座などを通して町の施策と産業が連携するような対策をとっていくのか。

問 起業には人材育成も重要なので、アドバイザー派遣事業等を活用し講座や研修会を開催する。

答 町長のマニフェストにある小規模事業者への配慮はどんなものか。

答 将来に向けて、柴田

町中小企業振興条例の制定に向けた取り組みを行い、経済活力の源泉である中小企業、小規模企業がその力を発揮できるように支援する。

問 退職された方々の知識やノウハウを町の発展に役立てる施策は考えているか。

答 「ゆる。ぶら」において、会員募集をしている地域づくり活動等に積極的な参加をお願いしたい。

問 町内にある母子生活支援施設は子どもがいないと入居することができない。子どものいないDV被害者のために町営住宅を提供できないか。

答 町営住宅はほぼ100%の入居率になっている。「持ち家がないこと、町税等の未納がないこと、収入が基準以下であること」などの入居資格が必要である。特例として火災等により住宅を失った方の被害者用住宅として2世帯分確保してある。

問 自宅が火事になって焼け出された人と、命の危険を感じて着の身着のまま逃げてきた人とう違うのか。1世帯分をDV被害者に回せないか。

答 被害者の安全確保やプライバシーの問題がある。県には緊急避難の受け入れ施設が2カ所ある。女性相談センターが手配することになっている。

問 町に一時避難所を設置する考えはないのか。

答 母子生活支援施設も一時保護施設として位置

づけられたが、厚労省の基準に適合していない。県からの働きかけはない。

問 県女性相談センターが受けた、夫からの暴力の相談件数は19年度761件、20年度896件、21年度999件と年間100件ずつ増えている。今後もっと増えると思うが、県内に2施設をどう考えるか。

答 現在の施設で対応は可能と県は考えていると思う。

Q DV被害者への
支援を



森 淑子 議員

A 現行制度の中で支援する



母子生活支援施設には職員が常駐



佐々木 守 議員

Q 29 A区 6号公園
周りの町有林整備は

A みやぎ環境税を活用して
「里山整備・森づくり」を進める



地元住民が自主管理している 29A 区 6号公園

問 29 A区環境部では、6号公園のみならず、そばの縄文古墳の整備もあわせて自主管理をしており、草刈り等を行って整備に努めている。その周りには杉林と雑木林の町有林があるが、荒れ放題。町の中心地にあり、本来であれば整備された里山として町民に親しまれているところだと思いがどうか。

答 来年度から導入される「みやぎ環境税」のメニューの中に「里山整備・

森づくり」がある。このメニューは市町村提案枠5千万円、5カ所ということなので、積極的にこれを活用して樹種転換を図るための伐採や、地元の方、子どもたちと一緒に広葉樹や草花の植栽を行い、環境教育や自然体験・歴史学習の場として活用できるように取り組んでいく。

問 29 A区環境部の要請もあり、町長みずから視察したとのことだが、その結果、どのようにする

考えか。

答 29 A区の人たちが、自主的に公園周辺を整備しているということについては、本当に心から感謝している。最近の子どもたちは、自然や郷土の文化財に触れる機会が少なくなっているので、公園周辺を里山として整備することは大賛成である。



佐々木裕子 議員

Q 高齢者確認等について

A 100 歳以上の所在を
全員確認



家族みんなで 100 才のお祝い(下名生 遠藤オハナさん)

問 柴田町の100歳以上の人数及び確認方法は。

答 人数は7名。うち6名が介護保険利用者で、施設等で確認、1名は自宅訪問にて本人確認。

問 今後高齢者・要援護者等確認は、どのような政策で取り組む考えか。

答 地区の活発化や団塊世代のボランティア育成、民生委員・児童委員、健康推進員ほか、地域包括支援センターや社会福祉協議会との連携により、顔の見える地域づくりや

きめ細かな見守りができる支援体制づくりを検討。

問 100歳以下の高齢者も確認できているのか。

答 民生委員の全数確認により、確認されている。

問 災害救急安心カードの配布予定時期は。

答 民生委員・児童委員の改選後、年度内配布に向け準備をしている。

問 配布戸数の予定数は。

答 本人同意の上、22年度実施は2千人が対象。

問 民生委員は、住民の確認・見守り・援助・福

祉増進など、大変重要な活動を行っている。民生委員が困難な問題に直面した際の行政の対応は。

答 疑問や問題に対応するため、定例会等に地域包括支援センター職員も入って、きちんと情報交換している。

問 委員の意識や地域によりかわる度合が異なるが、ルール・規則等は。

答 民生委員法で、7つの業務が決められている。



広沢 真 議員

Q 国保税は
値上げになるのか

A 医療費の伸びなどにより
値上げが懸念される



町民の命を守る健康保険

昨年の新政権誕生後、期待された後期高齢者医療制度の廃止など、医療制度の改革は一年を経過して改善どころか、状態は悪化してきている。顕著なのが国保税の高騰である。全国で国保税高騰↓滞納者増↓財政悪化↓国保税引き上げという悪循環から抜け出せなくなっている。

問 町の国保税の今後見通しは。

答 今年度は引き上げをしないですが、今後の状況と国保税の滞納に

問 個別の自治体で国保の広域化が出されているが。

答 昨年、国から広域連合に対し、機械的に発行を行わないよう通達が出され、資格証は発行していない。短期保険証は町では1名に発行している。

問 後期高齢者医療制度で資格証や短期保険証発行の現状は。

答 加入世帯5千472世帯中、滞納世帯は1千45世帯で全体の19%。短期保険証の発行は35世帯だ。

問 国の方針で国保の広域化が出されているが。

答 加入世帯5千472世帯中、滞納世帯は1千45世帯で全体の19%。短期保険証の発行は35世帯だ。

問 後期高齢者医療制度で資格証や短期保険証発行の現状は。

答 昨年、国から広域連合に対し、機械的に発行を行わないよう通達が出され、資格証は発行していない。短期保険証は町では1名に発行している。

問 後期高齢者医療制度で資格証や短期保険証発行の現状は。

答 昨年、国から広域連合に対し、機械的に発行を行わないよう通達が出され、資格証は発行していない。短期保険証は町では1名に発行している。

問 後期高齢者医療制度で資格証や短期保険証発行の現状は。

答 昨年、国から広域連合に対し、機械的に発行を行わないよう通達が出され、資格証は発行していない。短期保険証は町では1名に発行している。

問 後期高齢者医療制度で資格証や短期保険証発行の現状は。

答 昨年、国から広域連合に対し、機械的に発行を行わないよう通達が出され、資格証は発行していない。短期保険証は町では1名に発行している。

問 後期高齢者医療制度で資格証や短期保険証発行の現状は。

答 昨年、国から広域連合に対し、機械的に発行を行わないよう通達が出され、資格証は発行していない。短期保険証は町では1名に発行している。

問 後期高齢者医療制度で資格証や短期保険証発行の現状は。

Q 結婚の意識・動機づけの
学習活動計画は



高橋たい子 議員

A 今年、成人教育の一環で
初めて取り組む



出会い、ふれあい(イメージ)

問 町の事業として、結婚の意識づけや動機づけのための学習活動や宣伝

答 今年、船岡生涯学習センターでは成人教育の一環として独身者を対象に出会いや交流、親睦を含めた「出会い・ふれあい教室」を、料理・野外活動など6回コースで計画実施している。近隣市町での取り組みも参考にしながら機会を増やしていきたい。

問 町として出会いの場やきっかけづくりのイベントなど、関係機関に働きかけをして実施する計画はあるか。

答 出会い企画については、民間の取り組みにも期待するが、JA・商工会・工場等連絡協議会等と連携を取り合いながら検討して行く。



有賀光子 議員

Q 子宮頸がん
予防ワクチン接種に
助成を

A 平成 23 年度から実現できるよう
準備を進めたい



県内でもワクチン接種への助成が広がっている

問 23 年度にワクチン接種
らかになった。
子宮頸がんや細菌性髄
膜炎などの病気から女性
や子どもを守る予防ワ
クチンの接種は任意のため
全額自己負担が原則だが、
経済的負担を軽減するた
め公費助成に取り組む自
治体が広がっている。
一方、子宮頸がんは、
厚労省が 23 年度予算で、
経済成長や国民生活の安
定などのため設けられる
1 兆円超えの「特別枠」
の事業案が 8 月 16 日、明

らかにになった。
答 23 年度から公費助成
が進めたい。
問 細菌性髄膜炎を予防
するヒブ・小児用肺炎球
菌ワクチン接種も多額の
負担となる。早目に助成
すべきでは。
答 国の助成制度の動向
を注視し、自治体の取り
組み事例、ワクチン供給
の動向など情報収集に努
め、財政状況を勘案して
公費助成を検討したい。

問 来年度も乳がん、子
宮頸がん検診のクーポン
を継続実施し、「子宮頸が
んゼロ」へ挑戦すべきと
考えるが。
答 この事業は、受診機
会のなかった方への定期
的な受診を促し、検診受
診率の向上を図る上で極
めて重要な事業であると
認識している。
23 年度以降も国の助成
の有無にかかわらず継続
していく考えである。

問 我が国のまちづくり
の仕組みは行政主導から
住民参加へと変わりつつ
あり、自分たちにできる
ことは自分たちでという
ことから、全国的に住民
自治条例が制定されてい
る。なぜ住民自治条例、
参加と協働が必要か。施
行後の町民の反応はどう
か。
答 まちづくりは住民が
主役。参加と協働をまち
づくりの基本とし、自分
たちの地域は自分たちで
考え行動するという背景

がある。協働に関しては
まだ理解は不足。そのた
め広報や町内の事例など
機会をとらえ周知する。
住民も職員も自己改革が
必要。まちづくりの提案
制度を条例に基づき整備。
多様化する地域課題の解
決のため、立場の違う主
体が協働して相乗効果を
上げていくことが重要。
問 参加と協働の活発化
のため、他の自治体では
指針やルールを制定して
いるが、町の考えは。
答 特に考えていない。

本来「住民が主役」であ
り、押しつけではなく、
行政が入り過ぎてはいけ
ないと考えている。
問 地域の大人のとい
う感覚になるが、20 歳未満
の協働への支援は。
答 条例では、全町民が
主役であり、当然参加し
ていただき支援していく。
問 条例制定を記念して
の講演会等の事業は。
答 今後、まちづくり推
進センター設置などの条
例制定時に検討したい。

Q まちづくり条例
町民の反応は



水戸義裕 議員

A まだ理解不足
周知に努力する



新たに設置された住民自治によるまちづくり基本条例審議会(第 1 回)

問 現在の「しばたスポーツプラン21」は、平成7年に町民の要望を基に計画策定専門委員会がつくったもの。しかし、柴田町のスポーツ行政の手抜きは随所に見られ、プランと比しても、専門員配置なし、専門職種できず、各体育館にシャワールームもできず、まして平成18年度・22年度にプランを見直すとしたものが、していない。
また、プラン21にないパークゴルフはどうか。

答 プランが壮大であることと、現在のスポーツ愛好会の要望も少ないこと等、実態と少し乖離している。計画の進捗については、財政を含めた事務事業の見直しが優先された。
見直しは、23年度から町民も入った中でじっくりと固めていきたい。
パークゴルフは太陽の村で、関係課と詰めていく。

問 町長3期目のマニフェストに、白石川・船岡城址公園に関する回避ルートとの整備に約6億円もいるが、どんな回避を考えているのか。
答 夢も含むが、船岡城址公園の樅の木下側から白石川まで橋を架けてお客を呼びたい。それには県が管理している河川法での許可、JRの安全基準、最後にお金の問題がある。この事業手法については国・県の事業で活用できるものがないか、検討している。



佐藤輝雄 議員

Q スポーツ都市宣言 柴田町、スポーツの隆盛はあるか

A 個々の面では
努力をしている



町内でも愛好者が増えているパークゴルフ(角田市)

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

舟山 彰 議員

問 現在実施中の総合計画で、後期基本計画の進行管理の検証はいかに。

答 おおむね順調に推移と判断。評価D・低調に推移の項目は今後努力する。

問 銀座通りの歩道のゴムカバーに穴があいて危険。丸石は運転者に不評で撤去できないか。

答 すでに新型の質の高いふたに交換済。丸石の撤去は地元と代替工作物設置で協議する。

平間奈緒美 議員

問 子どもたちの安全を守っている見守り隊の方々への支援をもっとしていくべきでは。

答 年2回程度の意見交換会を実施している。具体的要望があれば支援していく。

白内恵美子 議員

問 選挙は民主主義の向上と自治を実現する。その開票事務を正確かつ迅速に行うべきでは。

答 正確に迅速に行うことは、有権者の要望にこたえる上で大変重要であり経費削減にもなる。

佐久間光洋 議員

問 柴田バイパスの街路樹が密集しており店舗や看板が見えにくい。改善できないか。

答 当時公園のような歩道を目指して整備されたもので、伐採等は難しいが個別に対応する。

佐々木 守 議員

問 マックスバリュ柴田店の閉鎖に対する対応は。

答 ザ・ビック柴田店は、イオンの系列会社。テナントもイオンが運営するので影響はない。

高橋たい子 議員

問 槻木地区へのフラワーパーク的施設整備の考えはないのか。

答 槻木の農村地区をフラワーベルトで結ばれる花空間に創造していきたい。

有賀光子 議員

問 町における「うつ病」有病者数や「ひきこもり」の実態をどう認識しているか。

答 相談・支援体制の充実強化、広報紙等を活用し、心の健康に関する理解の浸透を図っていく。

佐藤輝雄 議員

問 デマンドタクシー・花咲山・太陽の村。アウトソーシングの前に住民の声を聞くべき。

答 大きな事業であり専門的知識・ノウハウが必要なため、コンサルタントに委託した。

常任委員会レポート

各常任委員会は
年4回各課の仕事を
調査しています。

総務

■ 日時 平成22年7月22日、23日
■ 調査内容

- ・ 雨水排水ポンプの設置状況
- ・ 各地区の防災倉庫の配備状況
- ・ オープンガーデン事業
- ・ 丸森町のデマンドタクシー
(行政視察)

「花のまち柴田」創生事業で見学者に対するルールの確立とボランティアガイドの養成を

《総務課》

自主防災組織に対する防災資機材配備が進んでいるが、まだ未整備の部分がある。今後も物心両面での支援に努めること。

《まちづくり政策課》

「花のまち柴田創生事業」の一環で、住民との協同でオープンガーデンを展開している。今後、継続して行えるよう、見学者のルールを定めるとともに、ボランティアガイドの養成に努めること。

文教厚生

■ 日時 平成22年6月22日、23日
■ 調査内容

- ・ 高齢者及び障がい者福祉施設の運営の現状

高齢者、障がい者の福祉施設の連携と施設概要の町民への周知を

《福祉課》

将来を見据えた福祉行政の推進には、地域を支える多様な福祉資源やネットワークが連携することが必要である。町民に町内福祉施設の概要を広く理解してもらうため、周知する方策を検討すること。



建設中の特別養護老人ホーム(海老穴地区)

産業建設

■ 日時 平成22年7月7日、8日
■ 調査内容

- ・ 花き(鉢花)生産の現状
- ・ 水稻の生育状況
- ・ シルバー人材センターの活動状況
- ・ 大雨による浸水被害対策の現状

町内産花きや鉢花栽培に対するさらなる支援を

《農政課》

町内の花き・鉢花生産については、生産者、販売者及び行政が一体となつて相互に理解・連携して花き・鉢花のブランド化を推し進めることができる。と考える。「ゆる・ぷら」(仮称)観光物産交流館」での常設売り場確保やPRなど積極的に支援すること。

《都市建設課》

大雨冠水対策は常設排水ポンプの設置などで改善が見られるが、今後も引き続き冠水の解消に努めること。

あなたの一言



しもだ とおる 徹さん
(槻木西在住)

未来へ向けて

●柴田町に住んで感じたことは

仕事の関係で神奈川県川崎市、村田町、大河原町と移り住んで20年前に大河原町から槻木に引っ越してきました。

気候が温暖で大雨なども少なく住みやすい町と感じています。家族が病気になる、障害を抱え介護が必要になったときに町の担当の職員の方が家まで訪ねてきてくれて、福祉制度の利用を薦めてくれ、丁寧に対応してくれたのを今でも忘れられません。たいへんありがたかったです。

●柴田町の好きなところは

春の桜は毎年楽しみにしています。魚釣りが好きで海や川によく行きますが、海でも山沿いの川で

も池や沼にもどこどこでも近く、いろいろな釣り場に行きやすいので気に入っています。

●町に望むことは

今住んでいる地域もそうですが、高齢者世帯が多い住宅街が増えていきます。公共交通機関の整備も含めて、高齢者が住み続けられるように施策を進めてほしいと思います。

●議会・議員に望むことは

議員の活動を身近に感じることが少ないと感じています。議会懇談会に足を運ぶというのも重く感じている人が多いのではないのでしょうか。日常的に議員さんの活動が目に見えるようになってほしいですね。

◆編集後記◆

日々秋色が色濃くなって、秋の訪れを感じるようになりました。

昨年の4月より広報委員会に携わり、今回で7号目となりました。手探り状態で始めた議会だよりの編集作業ですが、毎回悪戦苦闘しております。

今回は、新しい取り組みとして議会の出席状況や議員の議決に対する賛否を一覧表としてまとめました。いかがでしたか。

今後とも「わかりやすく」「読みやすい」紙面づくりを心がけ、委員全員で頑張ってください。

皆様に手にとって読んでいただけますよう、議会活動や討論など熱い議会報告をお届けいたします。

議会広報
特別委員
平間奈緒美



ぜひ、議会の傍聴を!!

お待ちしております!

第4回定例会は 12月13日(月)午前9時30分開会予定

一般質問は 12月13日(月)・14日(火)・15日(水)の予定

※今定例会より開会は月曜日、時間は9時30分に変更されました。
詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせ下さい。

町ホームページ 本会議審議等結果を掲載
各種会議の出欠状況

町ホームページ内、「行政・まちづくり」の中の「町議会 議会だより」「議会のうごき」に、委員会・全員協議会の出欠状況もあわせて掲載しています。

柴田町のホームページ
<http://www.town.shibata.miyagi.jp>